

様式第1号(第7条関係)

受付番号	
------	--

袖ヶ浦市木造住宅耐震改修事業  
補助認定申請書

袖ヶ浦市長 様

今後継続して居住することを前提に、自ら所有する木造住宅に実施する耐震改修について補助金の交付を受けたいので、袖ヶ浦市木造住宅耐震改修補助金交付要綱第7条の規定により下記のとおり申請します。

申請日	年	月	日
-----	---	---	---

申請者氏名	ツガナ		住宅の所在地	〒 - 袖ヶ浦市					
代理者氏名	印	連絡先	本人・代理者	電話					
診断及び補強計画者	住所			耐震設計監理者登録番号					
	氏名	印	電話	耐震診断士登録番号					
	資格								
施工者	住所			耐震改修事業者登録番号					
	氏名	印	事業所名	建設業法許可番号					
	主任技術者名	電話							
建物概要	木造軸組工法	階建	1階	m <sup>2</sup>	2階	m <sup>2</sup>	居住用面積の合計	m <sup>2</sup>	
診断結果	袖ヶ浦市木造住宅耐震診断結果		番号	H -		地盤基礎		診断結果	
	精密耐震診断結果(現況)		上部構造評点			安全係数		総合評点	
	精密耐震診断結果(改修計画後)		上部構造評点			安全係数		総合評点	
耐震改修計画及び補助金算定根拠	工事予定期間	着手： 年 月 日 ~ 完了： 年 月 日							
	耐震改修工事に係る補助対象経費の算定								
	区分	工事部位	予定工事量	単位	見積単価	見積金額	標準単価	補助対象経費	
			a		b	c=a×b	d	e=c又はa×dの最小値	
		耐震改修工事補助対象経費の合計 f							
耐震設計監理に係る補助対象経費の算定									
工事補助対象経費	料率	料率による設計金額		実施設計費見積金額		設計補助対象経費			
f	g	h=f×g		i		j=h又はiの最小値			
耐震改修工事補助金予定額	o=m又はkの最小値、千円未満切捨て			補助算定額	m=f/3		限度額	k	
								400,000円	
耐震性能向上工事補助金予定額	p=n又はlの最小値、千円未満切捨て			補助算定額	n=f・2/3		限度額	l	
								500,000円	
耐震設計監理補助金予定額	q=r又はsの最小値、千円未満切捨て			補助算定額	r=j/2		限度額	s	
								100,000円	
耐震改修補助金交付申請予定額	q+oもしくはp								
* 袖ヶ浦市使用欄	上記耐震改修計画について、内容を審査したところ、適正と認められるので、認定したい。							受付欄	

認定番号	
------	--

袖ヶ浦市木造住宅耐震改修事業  
補助変更承認申請書

袖ヶ浦市長 様

第 号で認定された耐震改修の変更について承認を受けたいので、袖ヶ浦市木造住宅耐震改修補助金交付要綱第9条第1項の規定により下記のとおり申請します。

承認申請日	年	月	日
-------	---	---	---

申請者 氏名	フリガナ	印	連絡先	代理人氏名	電話
				本人・代理人	

\* 補強計画者・工事監理者・施工者の決定、変更があった場合に記入してください。

補強計画者・工事監理者	住所	耐震設計監理者登録番号	
	氏名	印	電話
	資格	(1級・2級・木造)建築士 (大臣・知事) 登録第 市第 H -	
施工者	住所	耐震改修事業者登録番号	
	氏名	印	事業所名
	主任技術者名	電話	建設業法許可番号

\* 補強計画、金額等に変更があった場合に記入してください。

変更の概要								
変更後の耐震改修計画及び補助金算定根拠	改修促進強化地区	内・外	耐震改修後の安全率	耐震改修後の総合評価点				
	工事予定期間	着手： 年 月 日 ~ 完了： 年 月 日						
	耐震改修工事に係る補助対象経費の算定							
	区分	工事部位	予定工事量	単位	見積単価	見積金額	標準単価	補助対象経費
			a		b	c=a x b	d	e=c 又は a x d の最小値
		耐震改修工事補助対象経費の合計 f						
耐震設計監理に係る補助対象経費の算定								
工事補助対象経費	料率	料率による設計金額		実施設計費見積金額		設計補助対象経費		
f	g	h=f x g		i		j = h 又は i の最小値		
耐震改修工事補助金予定額	o = m 又は k の最小値、千円未満切捨て			補助算定額	m = f / 3	限度額	k	
耐震性能向上工事補助金予定額	p = n 又は l の最小値、千円未満切捨て			補助算定額	n = f ・ 2/3	限度額	l	
耐震設計監理補助金予定額	q = r 又は s の最小値、千円未満切捨て			補助算定額	r = j / 2	限度額	s	
耐震改修補助金交付申請予定額		q + o もしくは p						
* 袖ヶ浦市 使用欄	上記耐震改修計画の変更について、内容を審査したところ、適正と認められるので、承認したい。						受付欄	

様式第6号（第9条関係）

認定番号	-
------	---

年 月 日

袖ヶ浦市長 様

住 所

氏 名 印

袖ヶ浦市木造住宅耐震改修事業

中 止 （ 廃 止 ） 届

年 月 日付け第 号で認定された耐震改修の  
計画については、下記の理由により、事業を（中止・廃止）するので、届け出ます。

記

袖ヶ浦市木造住宅耐震改修事業  
補助金交付申請書

袖ヶ浦市長 様

第 号で認定された耐震改修が完了しましたので、補助金の交付について袖ヶ浦市木造住宅耐震改修補助金交付要綱第11条の規定により下記のとおり申請します。

		交付申請日		年 月 日	
申請者名 氏	フリガナ		住宅の 所在地	〒 -	
	印				
代理者氏名		印	連絡先	本人・代理者	電話
改修事業者等 確認欄	この耐震改修については、関係法令を遵守し、別添耐震改修結果報告のとおり完了したことを証します。				
	補強 計画 工事 監理者	住所			耐震設計監理者登録番号
		氏名	印	電話	耐震診断士登録番号
		資格	(1級・2級・木造)建築士 (大臣・知事)登録 第 号		市第 H -
	施工 者	住所			耐震改修事業者登録番号
		氏名	印	事業所名	建設業法許可番号
主任技術者名				電話	
耐震改修工事補助金申請額		A		千円	
耐震性能向上工事補助金申請額		B		千円	
耐震設計監理補助金申請額		C		千円	
耐震改修補助金交付申請額		A 若しくは B + C		千円	

* 袖ヶ浦市 使用欄	上記補助金の交付申請について、内容を審査したところ、適正と認められるので、交付決定したい。				受付欄

受付番号	-
------	---

月 日

袖ヶ浦市長 様

住所

氏名

印

袖ヶ浦市木造住宅耐震改修事業  
補助金交付請求書

年 月 日付け第 号で通知された補助金の交付について、  
袖ヶ浦市木造住宅耐震改修事業補助金交付要綱第13条の規定により、下記のとおり請求します。

記

1 請求金額 一金 

--	--	--

 , 0 0 0 円

2 振込先

金融機関名 \_\_\_\_\_ 銀行 \_\_\_\_\_ 支店 \_\_\_\_\_

口座の種類 普通 当座

口座番号 \_\_\_\_\_

フリガナ  
口座名義人 \_\_\_\_\_ (\*申請者のものに限る)

受付番号	-
------	---

月 日

袖ヶ浦市長 様

住 所

氏 名

印

禁 止 事 項 に 係 る 誓 約 書

年 月 日付け第 号で補助金の交付を受けた住宅について  
下記のとおり誓約いたします。

記

- 1 補助金の交付日から 5 年間は、耐震上不利となるような、改修工事や増改築は行いません。
- 2 やむを得ず上記 1 に抵触する場合は、事前に市長に報告し、承認を求めます。